

2022（令和4）年度 事業報告書

社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会

統一ミッション

「私たちは、すべての人一人ひとりの人権と意思を尊重し、障害のある人もない人も共に社会・経済・文化ほかあらゆる分野に参加する機会を得て、主体性を持ちながら豊かな市民生活を送ることができる社会の実現を目指します。」

1. 全体状況

国連で2006年に採択され、日本が2014年に批准した障害者の権利に関する条約（以下、権利条約）への取り組みに対する審査が2022年8月に実施され、その総括所見が10月に公表された。今後、障害福祉や教育の分野において様々な影響が予想される。特に課題が取り上げられている分野としては、権利条約19条関係、入所施設やグループホーム等での暮らしの課題に関する勧告、権利条約12条関係、法律の前に等しく認められる権利として意思決定に関する勧告、権利条約24条関係、障害のある児童が障害者を包容する教育（インクルーシブ教育）を受ける権利に関する勧告などがあげられる。国においては、障害福祉計画および障害児福祉計画に係る基本指針の見直しが審議される中、障害者総合支援法の一部改正がされ2024年に向けて制度の詳細な内容や報酬改定の検討が進められてきた。東京都においても新たな計画の検討が進められており、例えば、成果目標の一つである施設入所者の地域移行、地域生活の継続の支援では、2023年度末の時点において2019年比6%以上（450名以上）が示されているところである。一方、グループホームを生活の場とされる方の推移は、2019年10,777名から2021年実績で13,108名、2023年予想で14,376名と推移する計画となっている。次年度に向けて、上記の基本指針の見直しの項目である、福祉施設から一般就労への支援、地域における相談支援体制の充実強化、障害者等に対する虐待の防止、地域共生社会の実現に向けた取り組み、地域ニーズを踏まえた障害（児）福祉計画の策定、障害者による情報の取得利用・意思疎通の推進、障害福祉人材の確保・定着、障害者福祉サービスの質の向上など今後の施策の動向について引き続き注目していく。

各事業では、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、通常活動を可能な範囲で実施してきた一年となった。

事業運営面では、医療的ケアへの対応を目的とした豊島区目白生活実習所分室（ぷらす）、一人暮らしへの移行も視野に入れた支援を展開する江東通勤寮連携型グループホームが開所した。また、練馬区石神井町福祉園の事業を引き継ぎ、加えて東京都重症心身障害児者通所事業を実施する Leaves 練馬高野台が開所した。

親の会活動においては、新型コロナウイルス感染症のため、自粛していた活動も対話集会、大会などが感染防止を徹底する形で開催された。また、研修については、引き続きオンライン配信した。各支部においても総会、研修会など少しずつ参集型の集会を行い、顔を合わせることによる情報交換や相談などコロナ禍以前の活動が求められていることも明確になった。

地域法人協議会では、感染防止対策を継続して様々な活動を行ってきたが、11月に新潟県において参集型で全国手をつなぐ事業所協議会全国研修大会を実施した。

法人本部においては、昨年度に続き「ワークショップ」を開催した。今年度は、法人の虐待防止に対する考え方と行動の原点となるクレドを策定するために「私たちのコア虐待防止のクレドを考える」というテーマを設定し、理事、監事を中心として実施された。

2. 基本方針

—すべての人が安心して暮らせる21世紀の共生社会を実現する—

(1) 障害のある人一人ひとりの人権と意思を尊重し、主体性を持って生活や活動をしながらか社会・経済・文化ほかあらゆる分野へ参加できるよう支援する。

(権利擁護と社会参加)

(2) 東京都をはじめとした関係行政機関・関係団体等と協力し、東京都における障害者施策を推進するとともに、必要とされる居住の場やサービスを積極的に整備する。

(施策推進と社会資源の整備)

(3) 法人の持てる資源と関係するネットワークを活用し地域社会に貢献する。

(地域貢献)

上記、(1) から (3) までを運営基本として据え、その具体化を図り事業を展開した。

3. 重点目標

(1) 新型コロナを見据えた新しいスタイルの策定と実現（親の会、事業体）
オンラインを活用した会議、研修会の推進

- (結果) 6. 東京都手をつなぐ親の会活動 7. 地域法人協議会活動 他
- (2) 東京都育成会の中長期計画の策定 (親の会、事業体)
- (結果) 5. 運営体制 (1 1) 会議その2 (中長期計画策定他)
- (3) 各種課題に対する対応 (親の会、事業体)
- ・事業所移転、新規開設に向けた着実な準備推進
- (結果) 4. 事業運営 (2) 今年度開設等事業所 他
- ・内部統制の推進
- (結果) 5. 運営体制 (2) 内部統制の推進及び会計監査人監査の実施
- ・親の会活動の活性化と権利擁護の推進
- (結果) 6. 東京都手をつなぐ親の会活動
9. 東京都育成会権利擁護支援センター
- ・本人活動の活性化
- (結果) 8. 本人活動 (1) 本人活動の活性化 他
- (4) 円滑な事業運営のための人材確保と人材育成
- (結果) 5. 運営体制 (3) 人材確保 他
- 上記、(1) から (4) までを令和3年度事業運営の重点目標と位置付けて事業に取り組んだ。なお、具体的結果については上記、(結果) にて記した章、項目を中心に報告。

4. 事業運営

(1) 運営事業所 別紙一覧表

(2) 本年度開設等事業所 (重点目標の(3))

名称	所在地	サービス内容 (定員)	備考
目白生活実習所分室 ぷらす	豊島区上池袋 2-5-1	生活介護事業 (医療ケア対応) 定員10名	開設 令和4年4月1日
連携型江東	江東区永代2 -18-6	共同生活援助事業 定員4名	開設 令和4年5月1日
Leaves 練馬高野台	練馬区高野台 3-8-5	生活介護事業 定員55名 (内) 東京都重症心身障害児者通所事業5名 日中一時支援事業	開設 令和5年1月1日

(3) 事業終了事業所

なし

(4) 指定管理更新事業所（指定管理に向けて公募選定に応じた事業所）

指定管理期間	事業所名
令和5年度～	江戸川区立希望の家（5年）
令和6年度～	中央区立知的障害者生活支援施設 レインボーハウス明石（10年） 中央区立知的障害者グループホーム フレンドハウス京橋（10年）

(5) その他（移転事業所）

名称	現所在地	新所在地	移転日
新宿区立生活実習所	新宿区弁天町50	新宿区矢来町6 （生活介護） 新宿区細工町1-3 （短期入所）	令和3年6月～ 令和6年7月

(6) その他（東京都等指導検査事業所）

事業所名	検査時期
なし	

5. 運営体制

(1) 役員等体制

① 役員（12名）

役職	氏名	備考
理事長	佐々木桃子	大田区手をつなぐ育成会相談役
副理事長	永田直子	杉並区手をつなぐ育成会会長
副理事長	森山瑞江	練馬手をつなぐ親の会会長
副理事長	高橋香	足立区綾瀬福祉園施設長
常務理事	仁田坂和夫	事務局長
理事	立原麻里子	新宿区手をつなぐ親の会副会長
理事	松崎伸一	社会福祉法人はなゆめ理事長
理事	佐藤宏樹	事務局次長
理事	緑川眞	Leaves練馬高野台施設長
理事	小原誠太郎	江戸川区立みんなの家施設長
監事	半澤嘉博	東京家政大学家政学部児童教育学科 教授
監事	菅原由美香	税理士法人SVC

任期：令和3年6月25日から令和5年6月の定時評議員会の終結時まで

② 評議員（14名）

氏名	所属等
山口 幸子	社会福祉法人新宿あした会理事長
松矢 勝宏	全日本特別支援教育研究連盟前理事長・東京学芸大学名誉教授
岩井 雄一	社会福祉法人せたがや櫨の木会理事長
湯汲 英史	公益社団法人 発達協会常務理事
山口 恵子	知的障害者と共に歩む会会長 第1ブロック
大上 好江	品川区手をつなぐ育成会副会長 第2ブロック
小西 早苗	板橋区手をつなぐ親の会名誉会長 第3ブロック
会田 久雄	江東区手をつなぐ親の会会長 第4ブロック
森井 道子	狛江市手をつなぐ親の会会長 第5ブロック
扇谷 正敏	とぶき育成園保護者元会長 第6ブロック
長尾 英治	特定非営利活動法人わかばの会事務局長
笹谷 亨江	元法人事業所施設長
三好 由加	世田谷区手をつなぐ親の会副会長 第2ブロック
水野 夏美	立川市手をつなぐ親の会会長 第5ブロック
任 期：令和3年6月25日から令和7年6月の定時評議員会の終結時まで	

(2) 内部統制の推進及び会計監査人監査の実施（重点目標の(3)）

① 会計処理適正化の推進

会計コンサルタント	辻・本郷 税理士法人
-----------	------------

② 指導検査委員による内部検査の実施

指導検査委員	藤村 剛、山崎弘子、田代崇久、松岡千登勢、寺岡真一、 鵜沼 清、笹島壯史
会計監査人対応・ 内部統制整備運用 アドバイザー	問山公認会計士事務所

内部検査実施状況表

実施日	内容	対象事業所
7月21日	経理	レインボーハウス明石
10月26日	経理	杉並育成園

3月7日	経理	とぶき育成園
------	----	--------

③ 会計監査人監査の実施

PwCあらた有限責任監査法人

④ 法人組織として求められる内部統制の推進

会計コンサルタント、会計監査人対応・内部統制整備運用アドバイザー等から適宜、教示を受け内部統制、会計処理面における統制推進を進めた。

⑤ 役員会議等

理事会	6/6、6/8、9/29、10/19、12/8 2/24、3/27、3/28	計8回
決議省略提案	6/24、8/2、1/17	計3回
評議員会	6/27	計1回

三役会	4/15、5/13、6/9、7/11、9/8、 10/12、11/7、12/8、1/13、2/8 3/8 計11回
-----	---

(3) 人材確保 (重点目標の(4))

① 定期採用試験

(受験者数名202/合格者95数名)

	試験日		受験者数	合格者数	内訳
	筆記	面接			
4月	5日 14日 27日	12日 21日 27日	42	14	新卒・既卒 (支援)
5月	12日	18日	10	6	新卒・既卒 (支援)
6月	7日	14日	17	8	新卒・既卒 (支援) 人材バンク (支援)
7月	5日 20日	12日 20日	18	12	新卒・既卒 (支援)
8月	2日 9日	9日 25日	12	6	新卒 既卒 (支援・事務・看護) 人材バンク (支援)
9月	9日	15日	16	5	新卒・既卒 (支援・看護)

	14日	16日			
10月	6日 13日	13日	9	3	新卒・既卒（支援・事務）
11月	10日 15日	15日	8	3	新卒・既卒（支援・事務）
12月	2日 9日	9日 20日	12	6	新卒・既卒（支援・看護）
1月	11日 17日	17日 19日 23日	15	9	新卒・既卒（支援・看護）
2月	7日 14日	2日 14日 22日	20	12	既卒（支援・看護） 人材バンク（支援）
3月	2日 7日 9日 22日	7日 9日 13日 15日 28日	24	11	新卒・既卒（支援・看護）
合計			203	95	

② 次年度新規卒業生獲得に向けた職場説明会等への参加

学生向け説明会	85	FUKUSHI meets マイナビ就活準備フェア・マイナビ就職セミナー 大正大学・東京福祉専門学校
法人説明会	174	WEB説明会
施設見学会	16	WEB見学会
合計	275	

関係誌への掲載

マイナビ2023、求人NAVI、キャリアタス求人、ハローワーク、産業雇用安定センター、東京しごとセンターフクシゴト、株式会社メドレー、転職ナビ、Indeed、パソナ（再就職支援サービス）

③ 育成会人材バンクの活用

職場復職者	2名
年度新規登録者	6名

④ 人材紹介の利用（令和3年度受験合格者の内訳）

	新卒支援員	中途支援員	中途事務員	中途看護師	その他	全体
合格者員数	16	69	0	10	0	95
紹介人材員数	6	1	0	3	0	10
紹介利用割合 (%)	37.5	1.4	0	30.0	0	10.5
経費 (単位:千円)	3,000	88	0	3,000	0	6,088

⑤ 内定者への交流会・研修会の企画と実施

次年度 内定者	3月6日	出前ワークショップキャラバン隊（5名） 親の会について（佐藤宏樹） 福祉に携わる職業人として（高橋香） ビジネスマナープレ講座（高橋雄一郎） 先輩職員との座談会（2名）	17名
------------	------	--	-----

(4) 人材育成（重点目標の(4)）

① 職員研修プログラムの充実

キャリアアップ研修のプログラムの見直しを行い、経年に合わせて日ごろの支援の見直し、気づきになるようなテーマ、グループワークによるアウトプットを内容に取り入れた。キャリアアップ研修の獲得目標スキルに合わせて、ウチダ人材開発センターによるビジネススキルを試験的に導入し、7講座に171名が受講した。

身近なところで個人で学ぶ機会としてeラーニング（インターネットネットを利用する学習、スペシャルラーニング）を本格的に導入した。個人のみならず、モデル施設においてはスペシャルラーニングを用いた施設研修の企画にも取り組んだ。

② 人事考課制度の推進

ア. 年度初めに、人事考課制度に関する変更点等について、社会保険労務士より管理職および一次考課者向けに説明（Web含む）を実施した。

イ. 社会保険労務士・本部人事考課担当者および人事考課委員が、各事業所の調整会議にアドバイザー・オブザーバーとして参加した。また、社会保険労務士が参加する調整会議に人事考課委員が同行し、オブザーバーとして必要な知識を習得した。

ウ. 社会保険労務士と本部人事考課担当者、および人事考課委員会による調整

会議評価会議を実施し、課題整理と必要な改善を実施した。

エ. 定期的に人事考課委員会を開催し、研修の準備および人事考課制度運用上で生じている課題に対して、検討し必要な対応を行った。

オ. 人事考課制度の精度向上を目指すために以下の研修を実施した。

6月 7日	研修中級編：第一次考課者・中堅職員（阿世賀陽一）	61名
12月13日	研修基本編：受講を希望する職員（阿世賀陽一）	29名

③ 研修の実施

ア. キャリアアップ研修（GW：グループワーク FT：ファシリテーター）

科目	実施日	内容（講師）	対象 参加人数
新任	4月18日	【集合研修 オリンピックセンターにて】 理事長講話、 家族の経験を知ろう（地域育成会会員）、 マナー研修、お金のしくみを知ろう（日本生命） 人事考課研修（阿世賀社労士）	令和3年度 中、令和4 年4月1日 採用者 76名
	4月19日	【オンライン研修】 コンプライアンス研修入門編（問山会計士） 職場の規則を知ろう（齊藤一紀氏）	
	4月27日	【オンライン研修】 障害者虐待防止法研修（中村、早川弁護士） ハラスメント研修（中村、早川弁護士） 職員支援体制を知ろう（有吉次長）	
	4月28日	【集合研修 オリンピックセンターにて】 統一ミッションと活動規範を知ろう（GW） 支援の基本を知ろう（GW） 法人を知ろう（上滝次長） 自分の将来を考えよう（橋本人事主任） 研修のまとめ（研修委員）	
2年 目	6月30日	【オンライン研修】 二年目職員への期待（高橋副理事長） キャリアプランを考えよう（橋本人事主任） グループディスカッション（研修委員）	2年目職員 43名
	6月8日	【オンライン研修】	FT希望者

		ファシリテーションとは（研修委員）	9名
初級 中堅	9月28日	【オンライン研修】 中堅職員の役割（日本福祉大 綿祐二氏）	3～5年目 職員 39名
	10月26日	【オンライン研修】 中堅職員の役割（日本福祉大 綿祐二氏）	3～5年目 職員 38名
中級 中堅	10月17日	【オンライン研修】 セルフリーダーシップ（日本女子大 久田則夫氏） コンプライアンス研修（問山会計士） 他事業所を知ろう、キャリアプランを考える （中央区放課後等デイサービス 泉主任、 多摩地域支援センター 山口主任、 大田区サポートセンター相談 新田主任、 東京ジョブコーチ支援室 笠原施設長） 研修を受けてキャリアプランを考えるGW	6～8年目 職員 39名
上級 中堅	9月10日	【オンライン研修】 支援の本質を考えてみよう （はるにれの里 加藤潔氏） 理事長講話 統一ミッション、活動規範を考えるGW	9年目以上 職員 48名
新任 主任	6月9日	【集合研修 本部にて】 理事長講話 主任業務について（有吉次長） 主任として取り組みたいことGW（研修委員）	新任主任 10名
	2月9日	【集合研修 本部にて】 先輩主任講話（ひだまりの里きよせ 岩上主任、 駒込生活実習所 山口主任） 施設長講話（谷原フレンド 福田施設長） 個人発表 統一ミッションと活動規範についてGW （研修委員）	新任主任 8名

イ. キャリアアップ研修（ビジネススキル研修）

科目	実施日	内容（講師）	対象 参加人数
2年目	7月7日	【オンライン研修】 タイムマネジメント研修	2年目職員25名
	7月8日	【オンライン研修】 タイムマネジメント研修	2年目職員25名
	7月19日	【オンライン研修】 文書コミュニケーション研修	2年目職員24名
	7月26日	【オンライン研】 文書コミュニケーション研修	2年目職員25名
初級 中堅	9月2日	【オンライン研修】 対人能力強化研修	初級中堅受講者の うち25名
中級 中堅	9月8日	【オンライン研修】 論理構成力強化研修	中級中堅受講者の うち24名
上級 中堅	9月5日	【オンライン研修】 問題解決スキル研修	上級中堅受講者の うち23名

ウ. 法人主催研修

科目	実施日	内 容（講師）	対象 参加人数
自閉 症支 援 講座	11月29日	【オンライン研修】 柔軟性と般化、現場の評価（自閉症eサー ビス 中山清司氏）	希望者 80名
実践 事例 発表 会	2月3日	【オンライン研修】 発表施設 恩方育成園（門倉歩、野村淳一郎） 桜上水福祉園（深谷勝敏、嶋内雄太、 GHえにし 河崎法文） すきっぷ（西村周治） すだちの里すぎなみ（山崎綾実、 支援センターすだち 青砥智子） 若葉福祉園（菅原貴信）	希望者 107名

自閉症プラスワン研修	5月17日	【集合研修】 講義（よこはま発達クリニック 宇野洋太氏） GW	25名
	6月21日	【オンライン研修】 GW	27名 オブザーバー4名
	7月21日	【オンライン研修】 GW	23名 オブザーバー2名
	8月30日	【オンライン研修】 GW	26名 オブザーバー3名
	9月20日	【オンライン研修】 GW	23名 オブザーバー3名
	10月18日	【オンライン研修】 GW	25名 オブザーバー3名
	11月15日	【オンライン研修】 GW	25名 オブザーバー4名
	1月17日	【オンライン研修】 GW	23名 オブザーバー3名
	2月21日	【オンライン研修】 GW 一年の振り返り	23名 オブザーバー4名

【職員数】（令和5年3月31日現在）

2,056名	期間定めなし1,193、契約職員193、パート職員646、アルバイト6、再雇用嘱託職員18
--------	---

【期間の定めのない職員動向】

採用 98名	支援員84、事務員3、看護師10、栄養士1 (新卒16、中途採用82)
退職 97名	事務局長1(1)、事務局次長1、施設長3、係長(事務1(1)) 主任(支援員6、事務員1(1))、支援員69(3)、 事務員3、看護師11(2)、理学療法士1()は定年

(5) 職員のサポート体制

- ① 無料相談窓口メンタルサポートネット（東京メンタルヘルス株式会社）

利用件数	16人（新規10人）が22件利用（面接12）
相談内容	職場に関する32件、自分に関する22件、家族に関する10件

② 職員の悩みごと相談窓口（担当：青木祐介）

相談件数	20件
初回相談方法	電話15件、面談1件、メール3件、手紙1件、FAX0件
相談内容	人間関係8件、ハラスメント関係4件、支援・業務関係1件、その他7件
延べ対応件数	延べ69回（電話45回、面談24回）

③ メンタルヘルス指定相談医の委嘱

株式会社 HL&E 橋本大彦医師	（相談窓口）法人事務局
面談実施 5/6、6/10、9/10、10/24、11/25 12/23、2/17、3/17	
面接者（延べ） 17名	

④ 職員のストレスチェック実施体制

実施委託機関	株式会社 HL&E
実施時期	令和5年2月13日～3月5日 高ストレス者面談申込 3名

（6）労務管理体制の整備

コンサルタント	社会保険労務士 阿世賀事務所
---------	----------------

（7）事業支援体制

① 事業支援委員の活用

渡邊健治、河津英彦、滝沢しげ子、山本多賀子、原 智彦

上記5名の事業支援委員が下記事業所を訪問し施設長、主任、職員とヒアリングを行い、助言等をもって適正な事業運営の一助とした。

氏名	担当事業所
渡邊 健治	江東区東砂福祉園、世田谷区立奥沢福祉園、世田谷区立給田福祉園
河津 英彦	練馬区立しらゆり荘、大田区久が原福祉園、豊島通勤寮
山本多賀子	江戸川区立希望の家、鎌倉福祉館、北区立たばた福祉作業所
滝沢しげ子	杉並育成園すだちの里すぎなみ、とぶき育成園、新宿区立

	新宿生活実習所
原 智彦	立川通勤寮、世田谷区砧工房・キタミクリーンファーム
事業支援委員会	令和4年10月3日、令和5年3月13日

(8) 危機管理体制

① 顧問弁護士

未来市民法律事務所	中村裕二、早川美恵子
番町総合法律事務所	河本みま乃

危機管理体制の強化を目的に顧問弁護士と業務理事等との意見交換会を原則、毎月開催した。

顧問弁護士 意見交換会	(弁護士) 中村裕二、早川美恵子 (育成会) 業務理事、有吉孝之、齊藤一紀 朝熊貴史、浅野和範、青木祐介
	4/14、5/24、7/1、8/5、9/12 10/24、12/5、1/20、2/28 計9回

② 施設・事業所ごとに施設賠償責任保険等に参加

③ 役員、評議員、施設長等に対する損害賠償請求リスクに対応できるマネジメントリスクプロテクション保険に参加

④ 懲戒関係

懲戒案件	5件
懲戒内訳	出勤停止1名、けん責4名

⑤ 施設賠償責任保険等

施設賠償保険 10件（治療費、見舞金等）7事業所

⑥ 内部通報

社内窓口	メール・電話・FAX 受付対応
青木 祐介	職員の悩みごと相談窓口担当
有吉 孝之	事業支援部門次長
社外窓口	メール・FAX・郵送 受付対応
上松 信雄	弁護士 番町総合法律事務所所属 内部通報担当者
河本 みま乃	弁護士 番町総合法律事務所所属 内部通報担当者
通報実績	0件

(9) 権利擁護、苦情解決体制

① 委員会等

法人	苦情解決第三者委員会 虐待防止委員会 職員の悩みごと相談・苦情受付窓口（青木祐介）
事業所	苦情解決第三者委員、 虐待防止委員会 権利擁護委員会等 苦情受付窓口（事業所ごとに担当者設置）

② 法人苦情解決第三者委員

渡邊健治、河津英彦、山本多賀子、関哉直人

③ 法人虐待防止委員会

委員長	佐々木桃子(理事長)	委員	緑川 眞(理事)
委員	永田直子(副理事長)	委員	関哉直人(弁護士)
委員	森山瑞江(副理事長)	委員	山本多賀子(社会福祉士)
委員	仁田坂和夫(常務理事)	委員	青木祐介(虐待防止マネージャー)
委員	佐藤宏樹(理事)		

(10) 会議その1（随時、必要な研修も会議中に実施）

施設長会議	4/20、5/18、6/15、7/20、9/21 10/19、11/16、12/21、1/18 2/15、3/15 参集・オンライン組み合わせ開催
主任係長会議	・計画「5月、7月または8月、10月、3月を除く8か月」 ・実施状況は下表に別途、掲載
事務担当者会議	7/26主任会、11/8新任研修 1/30インボイス研修、2/6新任研修、
看護師連絡会	・計画（3回：実施時期はコロナ禍状況を見て適宜） ・7月26日（オンライン）34名 有吉次長講和「育成会の看護師として求めるもの」他 グループワーク「近況報告、取り組みたいこと」 ・1月20日（参集：新宿生活実習所）23名 グループワーク「今後の連絡会のあり方について」

	・ 3月アンケート実施（行事当番、研修内容等）
主任係長会開催一覧	
4 / 27 オンライン開催	理事長より講話 「コロナ禍～親の思い・願い～」 スペシャルラーニング 「活用状況や使用方法について」グループワーク 事務連絡 72名
5 / 25 オンライン開催	仁田坂事務局長より説明 「法人事業計画について」 法人人事考課担当より説明 「人事考課制度一部変更について」 虐待防止に関するグループワーク 事務連絡 74名
7 / 27 オンライン開催	株式会社 Lean on Me より説明 「スペシャルラーニングについて」 法人副施設長 神作彩子氏より説明 「ファシリテーターについて」 各事業所BCP作成について情報交換 事務連絡 61名
9 / 28 オンライン開催	虐待防止に関するグループワーク 人材育成・人事考課の活用について情報交換 事務連絡 57名
11 / 22 オンライン開催	講師 片桐公彦氏 「虐待防止・身体拘束適正化の体制整備に向けて」 事務連絡 101名
12 / 28 オンライン開催	虐待防止・身体拘束適正化に向けての事例検討及びグループワーク 法人青木施設長より説明 「改定虐待防止要綱について」 事務連絡 82名
1 / 16 見学	東京都立高島特別支援学校 見学 (中学部2・3年生 自閉症クラス) 5名
1 / 25 オンライン・一部	講師 問山新司氏 「コンプライアンス研修」

参集開催	事務連絡	54名
2/9 見学	東京都立調布特別支援学校 見学 (小学部1・2年生 自閉症クラス)	5名
2/22 オンライン開催	株式会社 HappyBrain 池田竜太氏説明 「施設内で誰でもできるeスポーツの実践」 東京都担当者より紹介 「東京都障害者スポーツキャラバン事業」 事務連絡	55名
3/22 オンライン開催	高島特別支援学校、調布特別支援学校見学報告 法人虐待防止委員会検討結果報告 事務連絡	47名

(11) 会議その2 (中長期計画作成他) (重点目標の(2))

① 中長期計画作成ワークショップ

法人の重点目標にある権利擁護の推進を実現するため、虐待防止の基準となる credo を策定した。「私たちのコア虐待防止の credo を考える」というテーマで「親の会」「事業体」双方の視点にて理事、監事、施設職員等が参加してワークショップを実施した。

名称	構成員	開催日
ミッションをアクションで超えていこう PR OBJECT	理事、監事、施設長等職員、地域法人施設長等 31名	令和4年12月13日

② 事業体幹部会議

法人経営に関する検討に必要な情報整理、意見交換のために以下の会議を実施した。

名称	構成員	開催日
業務理事及び3次長会議	業務理事 5名 本部次長 3名	施設長会議開催日

(12) 会議その3 (経営改善、将来構想、BCP策定)

① 入所系施設長会議

各拠点の施設整備計画、預り金等支援サービスの実施検討など入所施設の運営について共通理解を図るとともに課題解決に向けての会議を実施した。

名称	構成員	開催日
入所系施設長情報交換会議	事務局長、業務理事 1名、本部次長1名 、事務主任1名、入 所施設長・副施設長 等	6/22、10/21、 11/25、1/23

② 自立生活援助・居住支援法人検討会議

自立生活支援および居住支援などの制度や国の施策を理解し、次の報酬改定等を見据えて、どのような地域生活支援サービスが展開できるかを検討した。合わせて、グループホームや通勤寮、単身生活者に対する金銭管理などの支援はどうあるべきかを定めるための検討も実施した。

名称	構成員	開催日
自立生活援助・居住支援法人検討会	事務局長、業務理事 、通勤寮長、地域生 活センター長、相談 支援専門員等	6/22、8/24、 10/21、12/14

③ 合同プロジェクト会議

各プロジェクト会議からの報告と、意見交換および検討のために以下の会議を実施した。

名称	構成員	開催日
合同プロジェクト会議	事務局長、業務理事 4名、本部次長 3 名、プロジェクト担 当等	4/13、6/15、7/1 、8/24、12/21、 1/17、3/10

③ プロジェクト会議

プロジェクトチームを設置し、法制度や法人経営に必要な対応について会議を実施した。必要に応じて専門家からの助言をもとに情報交換を行った。

名称	構成員	開催日
就業規則プロジェクトチーム	業務理事 1名 本部次長 1名 副施設長・事務担当	9/29、12/20

	者等 2名	
賃金規程プロジェクトチーム	業務理事 1名 本部次長 1名 係長・事務担当者等 4名	5/16、6/17、7/22、8/25、10/11、11/25、12/15、1/24、2/13、3/17
均衡待遇プロジェクトチーム	業務理事 1名 主任 2名	7/14、11/2
処遇改善加算プロジェクトチーム	事務局長 1名 主任・事務担当者等 8名	4/7、6/13、7/19、7/25、8/8、8/23、9/8、9/27、11/17、12/7、12/27、1/26、2/9、2/28、3/15

6. 東京都手をつなぐ親の会活動（重点目標の（1）・（3））

（1）役員体制

会 長	佐々木桃子
副 会 長	永田直子、森山瑞江、立原麻里子
部 会 長	渡辺理津子（研修）、三好由加（施策）、川村智美（教育） 宮澤百合子（本人活動支援）
企画委員	堀口智子、小矢野和子、伊東とも子、櫻井美恵子、加藤智子、 小杉裕子、三上久美、山根聖子、齋藤恵美子、遠藤知子、 小野田由夏、形岡拓文、岩男加代、榮 幸世、徳山香織、 池田貴子、久松順子

役員・企画委員会

（WEB会議）6/14、6/29、10/5、（法人会議室）3/20

（2）支部との連携

① 支部長会（会場：法人会議室・WEB会議）参加人数（WEB参加）

4月13日	事業計画・役員等推薦について他	37（27）名
5月 9日	対話集会・都大会について他	42（31）名

9月 6日	都議会政党要望・大研修会について他	45 (38) 名
12月 6日	「障害者総合支援法改正法施行後3年の見直しについて」講演他	42 (29) 名
2月 3日	令和5年度東京都障害福祉関係予算の概要説明他	45 (35) 名
3月 3日	令和6年度東京都予算等要望アンケートについて他	50 (37) 名

② 支部ブロック会

5月 6日	第5ブロック (WEB会議)
9月 2日	第5ブロック (WEB会議)
10月13日	第1ブロック (サンパール荒川)
11月 1日	第1ブロック・第3ブロック (法人会議室・WEB会議)
11月 2日	第2ブロック・第4ブロック (法人会議室・WEB会議)
11月 4日	教育部会・第5ブロック (法人会議室・WEB会議)
11月 7日	第6ブロック (法人会議室・WEB会議)

③ 大会等

6月20日 ～21日	東京都対話集会 (BIZ新宿) 福祉保健局・病院経営本部・教育庁・産業労働局・総務局	254名
7月15日 ～29日	東京都育成会大会全体会 (なかのZERO) 講演 (オンデマンド配信) : テーマ「尊厳のあるその人らしい生活の継続」～これからの成年後見制度の見直し～ (川端伸子)	372名 視聴回数1,248回
9月22日	大研修会 (オンライン配信) テーマ「尊厳のあるその人らしい生活の継続」～成年後見人や相談の実践から～ (シンポジウム) (佐藤彰一・小佐波幹雄・山本多賀子・藤巻鉄士)	276名
1月21日	東京都育成会新年会 (京王プラザホテル) 中止	

④ 都知事・都議会等への次年度予算要望

9月 1日	都民ファーストの会 東京都議団、都議会公明党
9月13日	東京都議会自由民主党、東京都議会立憲民主党
10月13日	日本共産党東京都議会議員団
10月26日	東京労働局交渉 (九段第三合同庁舎)
12月 5日	各種団体からの東京都予算に対するヒアリング(知事ヒアリング)

※昨年に続き都知事への直接予算要望の機会を持つことができた。

(3) 部会活動

① 教育部会：「子供たち主体の特別支援教育をともに考える」

～その子供にとって、その時に必要な教育が受けられるように～

ア. 部会 オンライン開催

5月17日	令和4年度計画、教育庁への要望、情報交換 他	50名
9月27日	活動報告・予定、情報交換	40名
2月 1日	東京都教育庁との懇談会（都職員：鞠子 雄志 氏、西岡 陽子 氏） 活動報告・予定、情報交換	45名

イ. 企画委員会（7回）

4/19、6/6、6/14、7/14、9/14、12/5、1/21

ウ. 各支部の教育部会活性化のための支援

要望の取りまとめ。支部長会及び親の会ブロック会への出席。

エ. 東京都知的障害教育四者懇談会（中止）

オ. 教育部会学習会（オンライン配信 ZOOM ウェビナー）

テーマ：「障害のある子どもたちへの包括的セクシュアリティ教育」

～自分もひと大切にできるように～

日 時：令和5年2月17日（金）10時～12時

講 師：門下 祐子 氏

申込者 376名

- ② 施策部会：東京都、都議会政党への予算要望書整理、東京労働局交渉参加
知事ヒアリング参加、政党要望参加（自由民主党、都民ファーストの会、
公明党、日本共産党、立憲民主党）

③ 研修部会：

都大会	オンデマンド配信 7月15日（金）15時～ 7月29日（金）15時	「尊厳のあるその人らしい生活の継続」 ～これからの成年後見制度の見通し～	川端 伸子
大研修会	オンライン配信 9月22日（木） 13時～15時	「尊厳のあるその人らしい生活の継続」 ～成年後見人や相談の実践から～ （シンポジウム）	佐藤 彰一 小佐波 幹雄 山本 多賀子 藤巻 鉄士

- ④ 本人活動支援部会：ゆうあい会総会（書面開催）
交流会、新年会、本人活動交流会（すべて中止）
運営委員会（東京都障害者会館 10回）

4/17、5/22、6/19、9/11、10/23、11/19、12/24、1/22、2/11、3/19
--

(4) 法人機関誌「TOKYO手をつなぐ」

「TOKYO手をつなぐ」（NO. 577～NO. 582）発行
年6回 奇数月 4, 700部発行

編集委員長	大塚 晃
編集委員	半澤嘉博、杉野学、小野寺肇、神立佳明、佐々木桃子、立原麻里子、伊東とも子、渡辺理津子、川村智美、仁田坂和夫、西村周治、朝熊貴史、大河内尚子、寺澤宣通、牧野隆行、堀之内治、鈴木幸雄、田邊裕子
事務局	上滝彦三郎、清水里美、佐藤宏樹（1月から）
編集会議	4/19、6/24、8/15、10/17、12/19、2/20

(5) 一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会との連携

① 大会等

10月22日	関東甲信越ブロック大会(長野県) 41名
11月5日	全国事業所協議会研修大会(新潟県)
11月20日	全国手をつなぐ育成会連合会全国大会（福井県） 5名
4月14日	関東甲信越ブロック各都県・政令指定都市代表者会議 (オンライン会議) 2名
3月15日	(オンライン会議) 2名
3月22日～ 5月19日	2022年度育成会フォーラム・行政説明会（オンライン配信） 223名
3月 9日	都道府県・政令指定都市育成会代表者及び事務局長会議（複数のブロックに分けて実施）（WEB）

② 役員・委員派遣など

名 称	役割	氏名
全国手をつなぐ育成会連合会	副会長	佐々木桃子
全国手をつなぐ育成会連合会国際委員会	運営委員長	寺澤 宣通

全国手をつなぐ事業所協議会	理事長	松崎 伸一
全国手をつなぐ育成会連合会編集会議	委員	永田 直子

③ 国際委員会の開催

委員	(委員長) 寺澤宣通 (委員) 佐々木桃子、高橋 香、石川智子、新田美和、北川聡子、齋藤利之
会議	4/18, 5/23, 7/12, 9/13, 11/10, 2/14(R5) 計6回
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・全国手をつなぐ育成会機関誌「手をつなぐ世界の動き」原稿の為の情報収集補助 ・国際育成会連盟との連絡調整及びウェブ会議等への参加(資料の翻訳など) ・アジア知的障害会議参加の補助(資料の翻訳など)

④ 関係団体への推薦など

名称	役割	氏名
公益社団法人日本発達障害連盟	理事	森山 瑞江
成田空港ユニバーサルデザイン分科会/成田空港ユニバーサルデザインワーキンググループ	委員	永田 直子
高障機構/障害のある労働者の職業サイクルに関する調査委員会	委員	松崎 伸一
アジア知的障害会議参加企画委員会	委員	寺澤 宣通

⑤ 機関誌「手をつなぐ」の普及推進

東京都育成会が支部及び関係機関配布先数等を取りまとめて機関誌発行がなされた。(東京都育成会取りまとめ部数895部)

⑥ 都内開催会議等への支援

年度末に都内で開催される「連合会フォーラム」開催に向けて協力する。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止により、行政説明と研修をWEB配信している。

(6) 福祉・障害教育関係団体との連携

① 委員会等への人材派遣・推薦

役員等	・公益社団法人日本発達障害連盟
-----	-----------------

	<ul style="list-style-type: none"> ・全国特別支援教育推進連盟 ・公益社団法人東京都障害者スポーツ協会 ・社会福祉法人東京都社会福祉協議会知的発達障害部会 ・社会福祉法人NHK厚生文化事業団
評議員	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人東京都社会福祉協議会
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都障害者団体連絡協議会 ・東京都障害者社会参加推進協議会 ・東京都特別支援教育就学支援委員会 ・東京都障害者スポーツセンター運営懇談会 ・東京都社会福祉大会東社協会長表彰・感謝選考委員会 ・東京都社会福祉協議会地域福祉推進委員 ・公益信託西村良枝記念知的障害者福祉基金運営委員会 ・東京都福祉のまちづくり推進協議会 ・成田空港ユニバーサルデザイン分科会 ・成田空港ユニバーサルデザインワーキンググループ ・東京都障害者介護給付費等不服審査会 ・東京都障害者施策推進協議会 ・東京都障害者差別解消支援地域協議会 ・東京都障害を理由とする差別解消のための調整委員会 ・東京都障害を理由とする差別解消のための調整委員会専門部会 ・東京都多摩障害者スポーツセンター運営懇談会 ・東京都発達障害者支援地域協議会 ・東京都特別支援教育就学支援推進委員会 ・東京都特別支援教育担当指導主事等連絡協議会 ・関東運輸局東京運輸支局バリアフリーネットワーク会議 ・東京都工賃向上計画会議 ・東京都障害者技能競技大会運営委員 ・東京都労働局雇用移行推進連絡会 ・東京都自立支援協議会 ・東京都社会福祉協議会福祉サービス運営適正化委員会委員候補者選考委員 ・権利擁護センターぱあとなあ東京業務監査
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・JDF東京（立原麻里子、小原誠太郎）

② 東京都障害者福祉会館の相談事業への協力

(相談員) 立原麻里子、大上好江

③ その他

- ・全日本特別支援教育研究連盟
- ・全国特別支援学級・通級指導教室設置校長協会
- ・全国特別支援学校知的障害教育校長会
- ・全国特別支援学校長会
- ・東京都特別支援学級・通級指導教室設置校長協会
- ・東京都特別支援教育研究会
- ・東京都特別支援学校長会
- ・東京都発達障害支援協会
- ・障害者各団体、日本チャリティ協会、教職員組合等々

7. 地域法人協議会活動（重点目標の（1））

（1）活動体制

活動体制表

会 長	佐々木桃子
運 営 委 員 長	長尾英治
副 運 営 委 員 長	高田範一、丹野克哉、吉村博之、郡司晴雄
運 営 委 員	小山朋範、黒住知昌、南波清也、鈴木大樹、石原康博、 宇野友則、河本博史、加藤亮一、齋藤喬、吉岡博之、 蜷川大輔、橋爪亮乃
参 与	松崎伸一
幹 事	長尾英治、高田範一、丹野克哉、吉村博之、郡司晴雄、 松崎伸一
研 修 委 員 長	高田範一
ニ ュ ー ス 編 集 委 員 長	郡司晴雄
専 門 部 会	就労支援部会 橋爪亮乃 生活介護部会 吉村博之 居住支援部会 加藤亮一 相談支援部会 吉岡博之 運営・経営支援部会 丹野克哉 自主製品部会 郡司晴雄

① 運営委員会等

運営委員会の下に幹事会、研修委員会、専門部会及びニュース編集委員会等を置き、協議会を牽引した。新たに参与を設置し体制を強化した。

② 幹事会は地域法人協議会を統括した。

③ 研修委員会は地域法人協議会に関わる研修を担当した。

④ 専門部会は各障害福祉サービス事業の課題を整理・検討した。

就労支援部会	7/29 オンラインセミナー「最新就労支援施策の動向」実施 3/14 障害者雇用創出企業訪問
生活介護部会	次年度に向けての委員の拡充やアンケート調査の検討
居住支援部会	アンケート調査の作成
相談支援部会	1/27、2/8 第三回研修会打合せ 2/22 第三回研修会登壇
運営・経営支援部会	7/1、7/6、7/21 処遇改善に関する座談会実施
自主製品部会	各事業所の自主製品実態把握
芸術・文化部会	次年度に向けての委員拡充を検討

⑤ ニュース編集委員会は地域法人協議会ニュースの編集・発行を担当する。「地域法人協議会ニュース ぷらっとほーむ」の配信

4月号（NO. 91）～3月号（NO. 102） 毎月発行

⑥ 各委員会・部会には委員長・副委員長を置き、幹事会との調整を行う。

委員長及び専門部会長から副運営委員長を任命し、副運営委員長は幹事として協議会を統括した。ニュース副編集委員長及び副専門部会長は未設置。

(2) 会議等

代表者会議	5/11
運営委員会	4/28、11/24、3/22
幹事会	6/10、8/4、9/28、10/27、11/24、 1/12、3/8
ニュース編集委員会	5/18、7/20、9/21、11/16、1/18、 3/15
研修委員会	7/28、8/30、9/28、10/17、 11/22、2/16
事業所連絡会	未実施

(3) 会員研修

- ① 一般研修会 3回：5月、7月、2月に実施した。
- ② 箱根一泊研修会：新型コロナウイルス感染症拡大により中止。代替研修として第三回研修会の規模を拡大し、全国手をつなぐ事業所協議会と共催で講演およびシンポジウムを実施した。
- ③ 障害福祉サービス事業実践発表会：12月に実施した。
- ④ サポートーズカレッジ研修：NPO人材開発機構が提供する研修動画コンテンツを各法人が選択し受講した。11月にグループワークを実施した。
- ⑤ 東京都育成会・事業所が開催する各職員研修等へ参加した。
- ⑥ その他、協議会主催の研修会（三多摩研修等）は未実施。情報交換会を実施した。

研修一覧（全てオンライン研修）

5月11日	第1回研修会 講演「障害者総合支援法改正法施工後3年の見直し 中間整理からとりまとめにむけて」（田中正博）	32名
7月4日	第2回研修会 講演「令和4年度就労支援施策説明」（東京都福祉保健局 尾添正裕） 講演「インボイス制度について」（菅原由美香氏）	54名
12月7日	実践発表会	65名
2月22日	第3回研修会（全国手をつなぐ事業所協議会と共催） 講演「これからの相談支援事業の役割について（総合支援法改定の中で）」（厚生労働省 松崎貴之） シンポジウム「相談支援の現状と地域生活支援拠点について」	59名
サポートーズカレッジ	みんなでサポカレ2022年版 11月17日 サポカレグループワーク研修	12法人 19名
東京都育成会研修会	9月28日、10月26日 初級中堅研修 10月17日 中級中堅研修 11月11日 上級中堅研修 11月29日 自閉症支援研修 2月3日 実践事例発表会	
箱根一泊研修会	中止	
三多摩地区研修会	情報交換会を実施	

(4) 全国手をつなぐ事業所協議会の諸会議、研修会等への協力及び参加

11月5日	令和4年度全国手をつなぐ事業所協議会全国研修大会 新潟県大会
-------	--------------------------------

8. 本人活動

(1) 本人活動の活性化（重点目標の(3)）

① 各支部や各事業所の本人活動について相互の情報交換や交流などを通じネットワークづくりを促進

未実施	・年度当初、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため本人活動交流会実施案は企画しなかった。
-----	--

② 支援者の養成研修などによる支援体制の整備

整備中	・従来実施している支援者養成講座は、規模を縮小して次年度4/16に実施予定で計画。
-----	---

③ どりーむ通信を年4回（3月、6月、9月、12月）の20日に機関紙として発行。（各回500部ずつ発行）

6月号は100号目としてカラー印刷、ページを増数し記念誌として発行。

④ どりーむ通信編集委員に各支部の本人参加を促進

どりーむ通信編集委員

ゆうあい会	山口順子、俵浩之、別所和彦、久保啓二、松尾章司、中村真一、織田康司、眞山和久
支援者	寺山菜穂子、大河内尚子、小林留美子、中川二郎、松本展和、加納光、山下七海、高田和美、安岡総一郎、横塚尚子、栗田智裕、佐藤楓、荒牧裕香、永井歩、柳澤和寿、常安直彌、根岸玲奈、浅田裕樹、山寄健太
事務局	山崎友記子
編集会議	4/11、6/21、7/21、8/3、9/20、10/5、10/25、12/12、1/16、2/2、3/7 (参集型とWEB型併用)

(2) ゆうあい会活動

① 活動の企画と実施

総会	6月19日に予定をしていたが、新型コロナウイルス感染症対策として時期をずらし、12月に書面開催とした。
----	---

バスハイク	新型コロナウイルス感染症対策として未実施となった。
交流会	新型コロナウイルス感染症対策として未実施となった。
新年会	新型コロナウイルス感染症対策として未実施となった。
運営委員会 見学会	運営委員会は、4/17、5/22、6/19、9/11、10/23、11/19、12/24、1/22、2/11、3/16に実施。日曜見学会は新型コロナウイルス感染対策として未実施となった。

② 会の活性化に向けた取り組み

しおりの見直し	「会の活動の基本となるしおりを見直すことで、会の目的と活動内容を会員間で話し合い、確認する」「会の活動を適正に提供するために、選挙のあり方を話し合い、公正な方法で役員を選出する」「魅力ある行事にするため、会員からの要望を積極的に取り入れ、会員間の交流をより深める場とする」と計画し令和6年度の改定を目指し、しおりの見直し、選挙のあり方については運営委員会で意見交換を実施した。
選挙のあり方について	
魅力ある交流の場(行事)づくり	

また、全会員を対象として10月にコロナ禍における会員の現状確認のためのアンケート、1月にサークル活動再開に向けたアンケートをそれぞれ実施した。

その他、地域交流として12/17、1/28にNPO法人GreenWork21主催のグリーンワークカレッジに運営委員が2名参加。

③ サークルと料理教室

サークル(グルメ、カラオケ、ボウリング、レクリエーション)(各年2~4回)	いずれもコロナ禍により開催できなかった。
料理教室(年4回)	

令和4年度ゆうあい会総会(6月19日開催予定)は書面開催としたため、上記、具体的内容も検討決定できなかった。

④ 各種委員会・協議会等への参加

ア. 東京都施策推進協議会

2/14

イ. 東京都障害者差別解消支援地域協議会

12/13、3/1

ウ. 東京都自立支援協議会

6 / 6、8 / 22 (交流会)、12 / 13 (セミナー)、2 / 28

エ. 東京大集会

10 / 17 ~ 11 / 16 (特設サイト公開期間中、運営委員個々で視聴)

オ. 関東甲信越ブロック大会 (長野県)

10 / 22

カ. 全育連Web全国本人交流会

9 / 19、10 / 9

キ. 全育連全国大会 (福井県)

11 / 20

9. 東京都育成会権利擁護支援センター（重点目標の（3））

（1）親の会支部全域を対象とした支援の実施

運営委員	佐藤彰一、佐々木桃子、仁田坂和夫、立原麻里子、齊藤一紀 中野敏子（所長）、田邊裕子、塩谷菜美	
専門委員	上原裕之、上山浩司、遠藤英嗣、大輪典子、佐藤彰一（運営委員と兼務） 信太貢、関哉直人、田中正博、田邊仁重、西村周治、橋本大彦、 平澤千鶴子、山中將利、湯汲英史、渡邊一郎、（15名）	
会議	運営会議	4/21、5/19、6/16、7/21、9/15、 10/20、11/17、12/15、1/19、3/16 全10回 オンライン会議システムを活用して開催した。
	拡大運営会議	2/16（出席者：17名、開催方法：オンラインシステムzoom によるオンライン会議、場所：法人事務局） 【内容】 ○令和4年度 活動報告 ・手をつなぐあんしん相談 実績報告 ・預り金等支援について ○権利擁護支援の今日的な動向について（報告） ・「国連障害者権利条約対日初回審査の総括所見と改正障害者 総合支援法」田中正博専門委員 ・第二期成年後見制度利用促進基本計画について（意見交換）

（2）青年期相談事業を権利擁護支援センターの役割として実施

青年期に限らず幅広く相談を受け付けることから相談事業の名称を「手をつなぐあんしん相談」に変更した（令和3年7月～）。

月曜～木曜日 10時～17時 (祭日、年末年始などを除く)	(相談員) 田邊裕子・塩谷菜美
相談件数	605件（電話相談602件、面談3件）
相談内容	<ul style="list-style-type: none"> ・話を聞いてほしい 307件 ・情報を得たい 17件 ・具体的な状況への相談 274件 ・具体的な状況について情報を得たい 5件 ・その他 2件

10. 障害者スポーツ

(1) フットサル大会インクルージョンカップの開催

フットサル大会 (府中スポーツガーデン)	9月～10月	2日間に分けて、参加団体を2つにわけて開催予定であったが、感染対策として中止とした。
-------------------------	--------	--

(2) 関係団体スポーツ大会への参加と協力

ア. 東京都障害者スポーツ大会 5月8日 合同開会式 (東京体育館) 5月21日、22日 陸上競技 (駒沢オリンピック公園総合運動場)
イ. スポーツの集い 9月7日 (東京体育館) ※リモートと参集のハイブリットで開催
ウ. 全国障害者スポーツ大会 10月29日～31日 (栃木県)